

那須塩原市単独補助金等審査中間報告
《平成 22 年度審査結果報告》

那須塩原市単独補助金等審査会

平成 22 年 11 月

《 目 次 》

はじめに	1
第1章 審査方法及び評価の方策	2
1 審査の進め方	2
2 評価の方策	2
(1) 評価基準	2
(2) 評価採点	3
(3) 評価結果による見直しの方向性	3
第2章 審査結果及び今後の課題	4
1 審査結果	4
(1) 審査結果の概要	4
(2) 現行市単独補助金の現況	6
2 今後の課題等	6
(1) 補助目的の明確化	6
(2) 連合形態による団体等への統一的基準等の検討	6
(3) 市民協働型の補助制度の検討	6
資料編	7
資料No.1 平成22年度那須塩原市単独補助金等審査結果一覧	9
資料No.2 市単独補助金等審査調査票（担当課用）	23
資料No.3 市単独補助金評価シート（担当課用）様式	25
資料No.4 那須塩原市単独補助金等審査票（審査会用）	27
資料No.5 平成22年度那須塩原市単独補助金等審査会開催経過報告	29

はじめに

那須塩原市単独補助金等審査会は、市が単独で交付する補助金等について、社会情勢や市民ニーズに照らし、真に適正なものであるかどうかを審査するための第三者機関として、平成21年6月に設置された。

当審査会では、平成21年度から3年間の計画で200事業・約11億円の市単独補助金の審査を行い、個々の補助金等の見直しの方向性等を決定していくことになる。

審査初年の平成21年度は、57事業の市単独補助金について審査を行い、今年1月、その審査結果（平成21年度審査結果報告）を当審査会の中間報告として市長に提出した。

市ではこの結果を受け、平成22年度予算の執行過程において、交付先団体等との見直しに向けた協議等が進められている。

2年目となる平成22年度は、71事業の市単独補助金を対象として、全9回にわたる審査会を開催し、個々の補助金等の見直しの方向性等について審査した。

補助金等の見直しに関する最終的な報告は、平成23年12月頃を予定しているが、交付される補助金等が市民の貴重な税金で賄われていることから、昨年度同様、これまでの審査過程における議論、意見等をもとに一定の整理を行った。

市においては、当審査会の審査結果を踏まえ、補助金等が真に市民の福祉の向上、市民との協働によるまちづくりのより一層の進展に大きく寄与されることを希望するとともに、可能なものから早急に実現されることを期待し、ここに中間報告するものである。

平成22年11月26日

那須塩原市単独補助金等審査会

委員長	松木	隆雄
同職務代理者	肥塚	澄江
委員	伊吹	桂子
委員	星野	岳央
委員	室井	正樹

第1章 審査方法及び評価の方策

1 審査の進め方

当審査会では、市が単独で交付している補助金及び交付金（以下「市単独補助金」という。）で、平成20年度の予算に計上された200事業を対象として、毎年3分の1ずつ、3年間ですべての市単独補助金を審査していく。

審査の方法は、交付される市単独補助金の内容が社会情勢や市民ニーズに照らし、真に適正なものであるかどうかの審査を行い、補助金ごとの見直しの方向性を市長に報告することになる。

審査の進め方については、原則として以下により行うこととした。

① 調査票・実績報告等関係資料の提出

事務局から補助金を所管する各担当課に、補助金等審査調査票（資料編・資料No.2参照）、補助金評価シート（資料編・資料No.3参照）、実績報告書などの審査に必要となる関係資料の提出を求める。

② 関係資料の説明・質疑応答

当審査会の開催ごとに、おおむね10事業程度の市単独補助金が審査対象案件として示される。見直しにあたって各担当課から提出された①の関係資料について、説明・質疑応答を行い、審査会閉会后、各委員は関係資料を持ち帰り、さらに関係資料を精査し、補助金ごとの評価採点を行う。

③ 個別審査及び審査票の提出

説明・質疑応答をもとに、各委員は資料編・資料No.4の那須塩原市単独補助金等審査票（以下「審査票」という。）により、個々の補助金について評価採点を行い、審査票を事務局に提出する。

④ 審議（見直しの方向性等）

各委員から提出された審査票をもとに、事務局において補助金ごとの評価採点集計一覧を作成し、その結果を参考として、委員の合議により個々の補助金の見直しの方向性、附帯意見などの結論を出す。

⑤ 審査結果の市長報告

補助金ごとに見直しの4つの方向性にまとめた審査結果を市長に報告する。

2 評価の方策

(1) 評価基準

評価は、①目的妥当性・公益性、②有効性・効率性、③公平性の3区分、5つの観点から設定した10審査項目の組み合わせによる審査票をもとに、各委員が50点満点で採点を行い、その合計点を委員数で割り戻した平均点で、補助金交付の是非を客観的に判断することとした。

① 目的妥当性・公益性（15点）

- ア 税金を投入して行う事業・活動であるか。
- イ 事業目的や目標は明確であり、現在の社会情勢や市民ニーズにあっているかどうか。
- ウ 事業目的は未達成で、今後も補助を継続して行う必要があるか。

② 有効性・効率性（25点）

- ア 補助金に対して、十分な成果・効果が見込めるか（費用対効果など）。
- イ 団体等の会計処理及び使途が適切か。
- ウ 補助対象の範囲や単価、補助率は適切であるかどうか。
- エ 団体等の決算における繰越金や余剰金は適切か。
- オ 会費の徴収など自主財源の確保や自立的運営に努めているか。

③ 公平性（10点）

- ア 特定の団体や個人ではなく、広く市民に効果が及んでいるかどうか。
- イ 受益者負担額は公平であり、かつ受益と負担の関係は適正か。

(2) 評価採点

前項の(1)評価基準で述べた3つの審査項目で掲げられている項目について、次の区分から各委員それぞれ、合計50点満点で採点を行った。

- A（＝5点）・・・評価は高い（審査項目に対して、8割以上当てはまる場合）
- B（＝3点）・・・評価は普通（審査項目に対して、6割程度当てはまる場合）
- C（＝1点）・・・評価は低い（審査項目に対して、あまり当てはまらない場合）
- D（＝0点）・・・評価に値しない（審査項目に対して、全く当てはまらない場合）

(3) 評価結果による補助金等の見直しの方向性

審査にあたっては、各委員が補助金を所管する各担当課からの関係資料と説明・質疑応答をもとに評価採点した結果から平均点（各委員の採点の合計を当該委員数で除し、小数点以下を切り捨てたもの）を算出し、その結果を参考に、委員の合議により、各市単独補助金の見直しの方向性、附帯意見など審査会としての結論を出した。

平均点	今後の見直しの方向性	
40点以上	継続	・交付基準に適合しており、継続して補助の必要性が認められるもの。
30～39点	改善	・補助の必要性はあるが、改善すべき事項があるもの。 ・類似目的補助金の整理統合を検討すべきもの。 ・補助金ではなく、他費目に組替えるべきもの。
	減額	・費用対効果が薄いもの ・自主財源の確保など自助努力が弱いもの。 ・繰越金、余剰金が多いもの。 ・補助対象とすべきでない経費があるもの。

29点以下	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・補助目的が達成されているもの。 ・社会情勢や市民ニーズに適合せず、必要性が薄いもの。 ・長期にわたる補助で効果が不明確または乏しいもの。 ・目的があいまいになっているもの。 ・会計処理、補助金の使途が適切でないもの。 ・交付基準に不適合の事業や団体への補助であるもの。
-------	----	--

第2章 審査結果及び今後の課題

1 審査結果

平成22年度審査分の市単独補助金71事業のうち、昨年度までに廃止されたもの、及び平成22年度・平成23年度をもって廃止、または廃止となる6事業は、当審査会の審査対象から除外し、残り65事業の市単独補助金について審査を行った。

なお、当審査会による審査は、貴重な税金で賄われている市単独補助金が、交付基準に基づき、適正に管理、経理がされているかどうか、その使途が本来の目的に沿っているかどうか、そして市民の利益のために効果的であるかどうかなどを、第三者の立場で客観的に判断したものであり、補助金交付団体等の存在意義や活動の内容などを審査・評価したものではないことを、念のため申し添える。

2年目となる平成22年度分の審査の結果を、中間報告として次のとおり報告する。また、市単独補助金ごとの審査結果及び審査過程における附帯意見などは、資料編・資料No.1「平成22年度那須塩原市単独補助金等審査結果一覧」のとおりである。

(1) 審査結果の概要

本年度審査分の市単独補助金65事業の審査結果を、総括・補助金等の性質別・各部局別で見ると、次のとおりとなる。

■総括

1	平成22年度審査対象件数		71件
2	既に廃止、または廃止される件数		6件
3	実審査件数		65件
	審査結果 (見直しの方向性)	① 継続 (40点以上)	39件
		② 改善・減額 (30～39点)	24件
		③ 廃止 (29点以下)	2件

■補助金等の性質別審査結果一覧（各年度）

審査結果 性質別	審査結果（見直しの方向性）												
	継続 (40点以上)			改善・減額 (30～39点)			廃止 (29点以下)			性質別計 (事業数)			
	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	
① 団体運営補助	16	14	-	9	8	-	1	1	-	26	23	(14)	
② 団体育成補助			-		1	-			-		1	(2)	
③ 建設補助		4	-		1	-			-		5	(3)	
④ 事業補助	4	7	-	3	5	-	3		-	10	12	(10)	
⑤ 行事補助	8	2	-	1		-	2		-	11	2	(9)	
⑥ 政策的補助	1	1	-		1	-		1	-	1	3	(2)	
⑦ 奨励的補助	2	7	-		6	-			-	2	13	(19)	
⑧ 義務的補助		3	-	1	1	-			-	1	4	(4)	
⑨ その他		1	-		1	-			-		2	(8)	
各年度計	31	39	-	14	24	-	6	2	-	51	65	(71)	
総合計	70			38			8			116			-

※ 性質別計（事業数）のH23欄かっこ書き数値は、審査予定数である。

■部局別審査結果一覧（各年度）

審査結果 部局別	審査結果（見直しの方向性）												
	継続 (40点以上)			改善・減額 (30～39点)			廃止 (29点以下)			部局別計 (事業数)			
	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	
企画・総務	6	4	-		8	-			-	6	12	(11)	
生活環境		4	-	1	2	-			-	1	6	(8)	
保健福祉	5	11	-		1	-			-	5	12	(11)	
産業観光	12	8	-	9	9	-	4	1	-	25	18	(18)	
建設		1	-	2	1	-			-	2	2	(2)	
教育委員会	8	9	-	2	3	-	2	1	-	12	13	(18)	
上下水道		2	-			-			-		2	(2)	
議会事務局			-			-			-			(1)	
各年度計	31	39	-	14	24	-	6	2	-	51	65	(71)	
総合計	70			38			8			116			-

※ 部局別計（事業数）のH23欄かっこ書き数値は、審査予定数である。

(2) 現行市単独補助金の現況

審査を行った市単独補助金65事業の審査結果・見直しの方向性を見ると、補助金等を継続すべきとした事業と改善・減額及び廃止すべきとした事業数の割合は、昨年度と同じ6：4という結果になった。

しかし、今回の審査においても、補助金等を継続すべきとした事業の中には、活動内容等の活発化や創意工夫が必要と思われるものや、積極的な事業展開を図るための連携強化、市民等に対するPRの手法など、さらなる検討が必要と思われる事業がいくつか見受けられた。

当審査会における審査の過程で議論された課題等を、今後の効果的・効率的な行財政運営を推進するための一助として、必要な見直しを検討されたい。

2 今後の課題等

(1) 補助目的の明確化

本来、補助金には、政策的思想や理念、見通しが明確に示されていなければならないが、それが必ずしも明確になっておらず、市の意思が見えないものがある。

このため、事業内容が包括的で、何を行っているのかわかりにくいものや、事業費に対する数%程度の補助金額で、どのような効果を期待しているのかが見えないものもあることから、改めて補助目的・主旨などを明確にすることが必要である。

(2) 連合形態による団体等への統一的基準等の検討

合併前の旧市町を単位とした連合形態の団体等では、支部等の活動支援として補助金を分配しているケースがあるが、各支部等における活動内容に温度差を感じるものが見受けられた。

連合形態とはいえ、同一目的を持った集合体であることから、活動の抑制・制限を招くことがあってはならないと考える。各支部等において統一した活動・事業を展開できるよう、指針・基準などの整備が必要と考える。

また、市民の一体感の醸成を図る上でも、組織を一本化することが望ましいと考える。

(3) 市民協働型の補助制度の検討

近年、ボランティアやNPOなどの新たな形態による市民活動が増えてきたことに伴い、市民との協働によるまちづくりは、行政の主要な取り組みの一つとなっている。那須塩原市においても、まちづくりの主体である市民との協働を基本姿勢に、市民主体の活気あふれるまちづくりの推進を総合計画で位置付けている。

市民との協働によるまちづくりを推進するにあたっては、市民自らのアイデアと創意工夫が最大限に活かされ、市民協働型のまちづくりを目指す団体等を育成、支援するための補助制度について、今後検討する必要がある。

資料編

資料No.1	平成22年度那須塩原市単独補助金等審査結果一覧	9
資料No.2	市単独補助金等審査調査票（担当課用）様式	23
資料No.3	市単独補助金評価シート（担当課用）様式	25
資料No.4	那須塩原市単独補助金等審査票（審査会用）	27
資料No.5	平成22年度那須塩原市単独補助金等審査会開催経過報告	29